

中国人の肯定的・否定的評価場面での言語表現分析

— 相手が親友の場合 —

Analysis of Positive and Negative Comments in Chinese Expression -In the Case of Close Relationship-

趙 海城
ZHAO Haicheng

提要 本文分析了肯定评价场景与否定评价场景下中国人对好友的评价语言的表达特征。通过分析对“发型，iPad / 旧手机，打扫卫生，成绩，家庭关系”这5种现象的问卷调查可以发现：中国大学生肯定评价场景下的言及率顺序是发型>成绩>打扫卫生>iPad>家庭关系。否定评价场景下，对好友不打扫活动室言及率最高。中国大学生肯定、否定评价场景下的言及率差异小，表达方式中感情表达较少。否定评价场景下，中国大学生多通过阐述道理，明示某种基准来给好友提出建议，纠正其做法。另外，中国大学生多通过向好友进一步咨询信息，寻求帮助，以及提醒，阐述利害关系等方式来拉近彼此关系。我们称这种语言表达方式为“评价干涉型”。

キーワード：中国人 評価場面 親友 言語表現

目次

1. はじめに
2. 先行研究
3. 調査概要と分析方法
4. 分析と考察
5. おわりに

1. はじめに

肯定的・否定的評価行動としての「ほめ」と「けなし」は、相手の価値をどのように認め、それをどのように伝えるかという対人評価にまつわる言語行動である。このような言語行動は、対人関係に直接的に影響しており、また言語によって異なる傾向が表れる。

本稿では、中国語母語話者による肯定的・否定的評価場面での言語表現を取り上げる。「親友の髪型、iPad / 古い携帯、掃除、成績、家族仲」という5つの事柄に対して、親友間で評価するか否か、評価する場合に選択される言語表現を分析し、その特徴を明らかにすることを目的とする。これらの評価対象は、ほめやけなしの研究で肯定的・否定的評価を受けやすい

とされる事柄、及び言及に偏りが予想される事柄を研究グループで合議して、それぞれ「外見、所持物、行動、遂行、親族」に属するものとして選定した。各評価対象に肯定的／否定的評価場面をそれぞれ設定した。

関崎博紀・金庚芬・趙海城（2017）で、肯定的評価は、誰もが持っているわけではない突出した技能や才能、特性、余人にはない継続性や努力によって実現する事柄には行われやすいのに対し、私的な事柄には行われにくいことを明らかにしている。また、関崎博紀・金庚芬・趙海城（2013）では、否定的評価は、自律性のなさや他者との関わりへの無関心さに対して行われやすいことを明らかにしている。評価を行うかどうかの傾向だけでなく、評価時に使用される言語表現にも対人的な配慮が色濃く反映される。そこで、本稿では、中国語母語話者の評価行動を取り上げ、肯定的・否定的評価場面で選択される具体的な言語表現を分析し、考察する。

2. 先行研究

2.1 肯定的評価に関する研究

「ほめ」や「けなし」は、相手を高くまたは低く価値づけ、その価値づけを伝える対人評価の言語行動である。対人関係に直接的に影響するため、盛んに研究されてきた。とりわけ、肯定的評価を伝える「ほめ」は、Holmes, J. (1986)、熊取谷哲夫 (1989) などで見られるように、英語圏から研究が始まり、中国語、日本語や韓国語など様々な言語において、主に Politeness 理論との関連で議論されてきた。

中国語母語話者のほめ評価行動に関しては、日本語や英語との対照研究が多い。彭国躍 (1990)、蒋冰清 (2006) などの研究で、中国では目上も含めてストレートに人をほめること、また、ほめに対する返答は、感謝よりも否定や謙遜・婉曲的な受け入れが多いこと、及びそこに男女差があることが指摘されている。李悦娥・冯江鸿 (2000) は、ほめ表現には英語と類似して形容詞、特に形容詞句や形容詞+名詞が多く、より直接的、簡潔明瞭であること、また二人称代名詞によりほめる相手を明示することを指摘している。李冬娜 (2015) はロールプレイで収集したデータから、中国語には「ほめ」言語表現として、感情表明、羨望表明、事実指摘、比喻、感謝表現が確認できるとしている。

2.2 否定的評価に関する研究

肯定的評価に比べ、否定的評価に関する研究は少ない。中国語での否定的評価の表現に関する研究では、罵語を概観した胡士云 (1997)、罵語の歴史の変遷を考察した刘福根 (2008) のように、従来主に語彙レベルで行われている。张韶岩 (2012) は中日両言語のけなし言葉を対照分析し、両言語にはいずれにも多くのけなし言葉が存在するが、日本では日常生活ではあまり聞かないが、中国では日常会話でさえきわめて豊富なけなし言葉が用いられていると指摘している。これらの研究では、語彙レベルでの否定的評価表現の特徴を明らかにしつ

つあるが、文献から抽出した語彙が対象で、実際に評価場面でどのような言語表現が用いられるかは考察されていない。

本稿では、中国語母語話者を対象に、肯定的・否定的評価が行われうる場面を同一条件として提示し、そこでの言及有無の傾向、及び用いられる言語表現を分析する。

3. 調査概要と分析方法

3.1 調査概要

調査は、2012年10月に中国の大連にある二つの大学に通う学生209名（男性：104名、女性：104名、不明：1名、平均年齢198歳）を対象として行った。評価の対象は「髪型、iPad/古い携帯、掃除、成績、家族仲」の5つを選定し、各対象に肯定的/否定的評価場面をそれぞれ設定した。調査票では各場面で言及するか否かを7件法（「6：一定会聊（必ず話しかける）～3：不一定（よく分からない）～0：一定不会聊（絶対話しかけない））で回答し、言及する（6、5、4）場合にはその内容を普段使う表現で書いてもらった。

各対象に言及するか否か、及びどのように言及するかは、相手との親しさに影響を受ける。そこで、回答者が思い浮かべる人物像と親しさの程度を統制するため、調査では相手が親友¹⁾/知り合い²⁾をそれぞれ操作的に定義し、回答を開始する前の部分に示した。このうち、本稿では、何らかの言及が行われる割合が高い相手である「親友」に限定して分析する。調査では中国語の調査票を配布し、中国語で回答してもらった。なお、回収した調査票の記入部分（評価表現）は、中日韓で比較するために、筆者らが日本語に翻訳した。

3.2 分析方法

回答の傾向を把握しやすくするため、各回答を分類した。分類は、まず、髪型、iPad/古い携帯、掃除、成績、家族仲に関する回答を見て探索的に行った。そして、表現自体の意味的な観点から、「評価述べ」、「事態言及」、「感情の表示」、「情報要求」、「行為要求」の5つを設けた。さらに、評価対象・評価場面ごとに、下位分類をした。そのため、評価対象によって下位項目は異なる。各分類は、全て操作的に定義、コード化し、全ての回答をいずれかの分類にコーディングした。

コーディングでは、結果の信頼性を確認するために、第二コーダーによるコーディング結果との一致率を算出した³⁾。第二コーダーは、言語学あるいは言語教育学を専門とする本研究に属さない2名である。2名の第二コーダーには本研究の定義設定までの作業内容を知らせず、事前に記述された定義とデータのみを見てコーディング作業を行ってもらった。

4. 分析と考察

4.1 肯定的・否定的評価の場面で言及するか否か

ここでは肯定的・否定的評価場面での評価言及状況を分析する。表1に、各場面で言及する（6、5、4を選択し、かつ表現欄に回答記入のあるもの）頻度と割合を示す⁴⁾。

表1 肯定的・否定的評価場面における言及率

場面	評価項目	言及/総数	言及率 (%)	場面	評価項目	言及/総数	言及率 (%)
肯定的場面	良い髪型	169/207	81.6	否定的場面	ださい髪型	139/207	67.1
	iPad 所有	124/207	59.9		古い携帯	74/206	35.9
	掃除する	141/204	69.1		汚く散らかす	165/205	80.5
	良い成績	150/204	73.5		悪い成績	139/204	68.1
	家族仲いい	103/207	49.8		家族仲悪い	126/205	61.5
平均	137/206	66.8	平均	129/205	62.6		

表1から分かるように、肯定的評価場面における言及率は概ね高く、髪型>成績>掃除>iPad>家族仲の順になっている。

肯定的評価場面での言及傾向は、良い髪型への言及率が高く、iPadを所有していることや親友の家族仲がいいことには、言及率が相対的に低い。一方、否定的評価場面における言及傾向は、親友がサークルルームを汚く散らかしていることが最も高く、悪い成績やださい髪型への言及率も高い。それに対し、古い携帯への言及率が最も低い。

肯定的評価場面と否定的評価場面を比較すると、親友がサークルルームを汚く散らかしていることへの言及率は、きれいに掃除することへの言及率より高い。また、家族仲が悪い場面での言及率は家族仲がいい場面より高いことが見て取れる。

携帯電話など物質的な豊かさに関わるものに対して評価言及しない傾向である。一方、いつもサークルルームを汚く散らかすという周りに迷惑をかける行為、またプライベートにかかわることにも関わらず、家族と仲が悪いということに評価言及する割合が高いのは、これらのことは中国社会で良しとされる価値観に悖るからであろう。

4.2 肯定的・否定的評価場面に用いられる表現

次に、言及に使用される言語表現とその頻度を見ていく。紙幅の都合上、本稿では5%以上表れた分類まで示し、それ以下の分類および各表現分類の定義は割愛する。以下、評価場面、評価対象ごとに、表現の分類、分類別頻度と割合、具体例を示す。それを踏まえて各下位分類の集計結果から、言語表現の使用傾向を分析する。4.2.1では肯定的評価場面における表現、4.2.2では否定的評価場面における表現を分析する。各節の表中で具体的な表現例に付した波線は、当該の下位分類に該当する表現を表す。

4.2.1 肯定的評価場面における表現

本節では、肯定的な評価場面として、「良い髪型、iPad 所有、きれいに掃除すること、良い成績、家族仲がいいこと」の5つの場面を取り上げ、それらへの言及に用いる言語表現の分類、具体例を示して、各表現分類の頻度及び割合を分析し、考察する。

4.2.1.1 良い髪型への言及に用いる表現

良い髪型への言及に用いる表現の分類、頻度と割合、具体例を表2に示す。表2も含め、各

表での割合の母数は、「言及する」と回答した者から、使用する具体的な表現を記入していない者を除いた数である。よって、各割合は、「言及するとし、かつ具体的な表現を記入した」全回答にその分類に該当する表現がどの程度含まれていたかを表している。具体的な表現を記入した人数 (n) は以下の各表のタイトルに示す。なお、“换发型了? 真好看” (髪型変えた? きれいだね) (分類: 変化言及+評価) のように、一つの回答に二つ以上の表現分類が含まれることもあるため、割合の合計は100%を超えうる。

表2 良い髪型への言及に用いる表現の分類、頻度と割合 (n=169)、具体例

表現の分類	頻度	%	具体例
評価	135	79.9	哎、 <u>你这发型真不错!</u> (あれ、この髪形がいいね!)
変化言及	36	21.3	<u>换发型了? 真好看</u> (髪型変えた? きれいだね)
比較評価	34	20.1	你这个发型比以前好看多了 (今の髪型は前よりずいぶんきれいになった)
情報要求	30	17.8	哇赛、新发型、在哪里剪的哇、真好看。(わあー、新しい髪型、どこで切ったの、いいね)

表2から分かるように、「評価」が80%近くと最も多用されており、「変化言及」「比較評価」が20%用いられている。「変化言及」の使用率は相対的に低い。以上のことから、中国語は評価が中心となっていることが分かる。

4. 2. 1. 2 iPad 所有への言及に用いる表現

iPad を所有していることへの言及に用いる表現の分類、頻度と割合、具体例を表3に示す。

表3 iPad 所有への言及に用いる表現の分類、頻度と割合 (n=124)、具体例

表現の分類	頻度	%	具体例
肯定的評価	64	51.6	好有钱! (お金持ちだね!)
行為要求	51	41.1	真好、借我玩玩吧 (いいなあ、ちょっと貸して)
情報要求	31	25.0	你的 ipad、用得怎么样? 好玩吗? (あなたの ipad、使ってみた感じはどう? 面白い?)
事態	18	14.5	新买的啊? 挺好看的啊! (新しく買ったの? きれいだね!)
対人肯定的評価	13	10.5	真潮啊、哥们... (おしゃれだなあ、きみ...)

表3から、中国語は「肯定的評価」の割合が最も高く、親友が iPad を所有していることを評価的に述べる傾向が伺える。「行為要求」が2番目に多用されており、実際に手に取って見せるよう求めることも興味や関心を示す重要な方法になっている。一方、表3では割愛したが、中国語は「感情の表示」(例: 我也喜欢) が22%と非常に低いことから、回答者自身の羨望や購買意欲などを示すことなく、親友を評価的に述べることが伺われる。

4. 2. 1. 3 掃除することへの言及に用いる表現

サークルルームをいつもきれいに掃除していることへの言及に用いる表現の分類、頻度と割合、具体例を表4に示す。回答での評価的な表現には、掃除をした人に向けられるものと、掃除された結果の部屋に向けられるものがあった。そのため、両者を区別して「対人評価」

「対部屋評価」とする。

表4 掃除することへの言及に用いる表現の分類、頻度と割合 (n=141)、具体例

表現の分類	頻度	%	具体例
対人評価	102	72.3	勤快、能干、好孩子 (勤勉で、よく働く、いい子だね)
行動言及	42	29.8	你好能干 (なかなかよくやるね)
対部屋評価	41	29.1	哇! 真干净~ (わあ! きれい~)
感謝・恩恵	12	8.5	你做的太棒了、谢谢你 (すごく良くやった. ありがとう)

表4から分かるように、「対人評価」を多用している。また、「行動言及」「対部屋評価」を約30%用いている。中国語では対人・対部屋に評価的に述べる割合が高く、サークルルームを清潔に保つこと及び清潔に保つ相手を評価するが、自分が加わって行動するよりもあくまで相手の行動を相対化して評価的に見ており、それは共同行為提案が1%以下でほとんど見られないことにもつながる。これは中国の大学生の大半は寮生活を送っており、各部屋はそれぞれ当直を決めていることに関係していると思われる。

4.2.1.4 良い成績への言及に用いる表現

良い成績への言及に用いる表現の分類、頻度と割合、具体例を表5に示す。

表5 良い成績への言及に用いる表現の分類、頻度と割合 (n=150)、具体例

表現の分類	頻度	%	具体例
肯定的評価	95	63.3	你学的太好了 (あなたは成績が非常にいいね)
情報要求	34	22.7	你是怎么学的呀、教教我 (どうやって勉強したの、ちょっと教えて)
恩恵要求	34	22.7	继续保持啊、以后靠你了 (維持してね、今後は君を頼りにする)
羨望・願望・決心	23	15.3	我以后要向你看齐 (これから見習わなくちゃ)
行為促進	22	14.7	希望你再接再厉更创辉煌 (一層励んで、素晴らしい成績を上げてね)
行動・過程への言及	18	12.0	你太爱学习了 (勉強好きだね)

表5に示すように、「肯定的評価」が多い。「行動・過程への言及」は12%に止まっている。中国語は勉強法を教えてもらう等の「情報要求」や、奢ってほしい、勉強を教えてもらうなどの「恩恵要求」が比較的高い割合で見られる。

このように、中国語で「情報要求」「恩恵要求」表現を多用するのは、相手に積極的に関わろうとする姿勢、親しさを示す方法の表れであろう。この特徴は調査対象者の中国人大学生がほとんど寮生活で、親友を想定するとルームメイトか同級生を思い浮かべることが多く、授業時間外でも自習などで密に接していることの影響もあろう。

4.2.1.5 家族仲がいいことへの言及に用いる表現

家族仲がいいことへの言及に用いる表現の分類、頻度と割合、具体例を表6に示す。

表6 家族仲がいいことへの言及に用いる表現の分類、頻度と割合 (n=106)、具体例

表現の分類	頻度	%	具体例
家族仲への評価	45	43.7	你家真和谐（家族は仲睦まじいね）
事態言及	29	28.2	你和家人处得不错啊！（家族と仲がいいね！）
羨望	16	15.5	好羡慕这么和谐的家庭（こんな仲睦まじい家族が羨ましい）
相手への評価	13	12.6	有人情味、情商高。（人情味があり、EQが高い）
好意・希望・提案	11	10.7	<u>啥时候一块出去吃个饭啊</u> 、把我妈也叫上（いつか一緒に食事しよう、うちのかあちゃんも呼んでさ）
原因・理由・コツ	11	10.7	你是怎么做到的（どうやってそううまくできたの）

表6から、「家族仲への評価」を多用していること、「羨望」が少なく、多様な表現が比較的偏らずに用いられている。このように、中国語は、家族仲を評価的に述べるだけでなく、「羨望」にとどまらず、「親孝行、良い子」のように相手への評価を行ったり、コツを尋ねたり家族同士の交流の場を設ける提案をしたりして、相手の家族仲がいいことへの肯定的な評価を示すと同時に、交流を深める要望も出している。

4.2.1節では、肯定的な評価場面としての髪型、iPad、掃除、成績、家族仲への言及に用いる表現の分類、具体例を示し、各分類の頻度と割合をもとにその要因を考察した。

4.2.2 否定的評価場面における表現

本節では、否定的な評価場面として、「ださい髪型、古い携帯、汚く散らかすこと、悪い成績、家族仲の悪さ」の5つの場面を取り上げ、それらへの言及に用いる表現の分類、具体例を示した上、各分類の頻度及び割合を分析し、考察する。

4.2.2.1 ださい髪型への言及に用いる表現

ださい髪型への言及に用いる表現の分類、頻度と割合、具体例を表7に示す。

表7 ださい髪型への言及に用いる表現の分類、頻度と割合（n=139）、具体例

表現の分類	頻度	%	具体例
否定的評価	76	54.7	这头发剪的太失败了！（この髪型大失敗だね！）
指示・提案	41	29.5	你的发型太难看了、 <u>换换吧</u> （髪型超ダサイ、変えたほうがいい）
比較評価	33	23.7	<u>感觉你这发型不如上一个好呢！</u> （今の髪型は前ほどではないようだ）
原因・目的言及	32	23.0	你是得罪了发型师了吧（美容師の恨みでも買ったんでしょ）
気づき	12	8.6	你头发怎么了（髪どうしたの）
非否定的評価	12	8.6	你的发型、额、えど、 <u>比较奇葩</u> （君の髪型、えーと、ユニークだね）
変化の過程	12	8.6	<u>在哪儿弄的、这么难看、换了吧</u> （どこでやった、ダサイよ、変えて）

表7では、「否定的評価」が54.7%と割合が高く、「比較評価」が全回答の23%を占める。その一因は、「指示・提案」とともに述べられ、改善を促す根拠にもなっていることにある。また、「原因・目的言及」「指示・提案」の割合が高い点も特徴的である。親友のために踏み込んで原因の特定を試み、率直にアドバイスする姿が読み取れる。このように、「否定的評価」「比較評価」「指示・提案」を中心に、各種表現を組み合わせることで否定的評価を伝え、改善を

促している。

4.2.2.2 古い携帯への言及に用いる表現

親友が古い携帯を持っていることへの言及に用いる表現の分類、頻度と割合、具体例を表8に示す。

表8 古い携帯への言及に用いる表現の分類、頻度と割合 (n=74)、具体例

表現の分類	頻度	%	具体例
行為要求	51	68.9	换个好的呗？(良いものに変えたら？)
否定的評価	16	21.6	<u>你这电话太旧了</u> 、换一个新的吧(この携帯古いね、新しいのに変えたら)
所持言及	10	12.8	哇、准备什么时候换个手机呢(わー、いつ携帯を変えるつもりなの)
原因・理由	9	12.2	干吗不换手机(どうして携帯を変えないの)
変える利点	6	8.1	赶紧换一个吧！ <u>我们以后就可以聊QQ了</u> (はやく変えようよ！変えたら私たちQQでチャットできるようになる)
時代・周囲	6	8.1	姐们、 <u>什么年代了</u> 、换换吧(姉さん、今の時代、変えようよ)

表8を見ると、「行為要求」が最も多用されている。「否定的評価」がやや多く、16例中10例は「行為要求」と組み合わせて携帯電話の変更を促す手段となっている。また、「どうして変えないの」のような「原因・理由」を尋ねる表現も多い。

4.2.2.3 汚く散らかすことへの言及に用いる表現

親友がいつもサークルルームを汚く散らかしていることへの言及に用いる表現の分類、頻度と割合、具体例を表9に示す。

表9 汚く散らかすことへの言及に用いる表現の分類、頻度と割合 (n=165)、具体例

表現の分類	頻度	%	具体例
指示・提案	83	50.3	这么脏、 <u>也不知道收拾收拾</u> (こんなに汚いのに、掃除って事は知らないの)
否定的評価	59	35.8	你不能干净利落点儿吗？看让你弄的！ <u>都成猪窝了</u> (ちょっときれいにできない？見なさいよ！豚小屋みたいになっている)
行動・状況言及	41	24.8	你看你、 <u>把这里弄的太乱了</u> (見なさい、こんなにも散らかして)
注意・脅し	28	17.0	下次自己注意点啊、干净点(次は気を付けて、きれいにしなね。)
禁止	21	12.7	不能这样(こうしちゃだめ)
社会規範	14	8.5	营造一个干净卫生的活动室比什么都重要(きれいな部活室を維持するのが何よりだ)

否定的評価場面で最も言及率の高かった「汚く散らかす」場面では、表9に示すように、「指示・提案」が最も多く、「否定的評価」、「注意・脅し」や掃除しない、散らかしている「行動・状況言及」は比較的多用されている。

中国語では、サークルルームが散らかる原因となった相手の行動に言及したり、散らかさないように注意したりする傾向が強い。4.2.13で見たように、相手を中心に据えた表現をす

ることは、サークルルームをきれいに掃除している親友に対して、感謝よりも、対人評価や、掃除した結果の部屋の状態を肯定的に評価したりすることからも示唆される。

4.2.2.4 悪い成績への言及に用いる表現

悪い成績への言及に用いる表現の分類、頻度と割合、具体例を表10に示す。

表10 悪い成績への言及に用いる表現の分類、頻度と割合 (n=139)、具体例

表現の分類	頻度	%	具体例
指示・助言	108	77.7	应该努力些 (もう少し頑張るんだよ)
悲観的未来言及	21	15.1	再不学你可找不到工作了 (勉強しないと仕事が見つからないよ)
詰問・気づき	21	15.1	小子, <u>你是想干嘛</u> , 赶紧好好学习! (君、何考えてるの? さっさと勉強しなさいよ!)
否定的評価	13	9.4	你得好好学啊! <u>不能这么马虎了!</u> (しっかり勉強すべきだよ! こんなにいい加減にしちゃダメ!)
行動・結果言及	10	7.2	你就不能好好学学啊 (君ったらしっかり勉強できないの)

表10に示すように、勉強するように「指示・助言」が最も多いが、「悲観的未来言及」「詰問・気づき」が15%以上見られる。「指示・助言」とともに、親身になってアドバイスをしたりして、努力しないと将来が困ることに気づかせようとしている。これも4.2.14で触れたような相手に積極的にかかわろうとする姿勢と類似する。

4.2.2.5 家族仲が悪いことへの言及に用いる表現

家族仲が悪いことへの言及に用いる表現の分類、頻度と割合、例を表11に示す。

表11 家族仲が悪いことへの言及に用いる表現の分類、頻度と割合 (n=126)、具体例

表現の分類	頻度	%	具体例
助言・提案・命令	100	79.4	你应该改善一下自己和家里人的关系 (家族との関係を改善すべき)
価値観言及	35	27.8	<u>家人是我们爱的源泉</u> , 不可以这样的. (家族は私たちの愛の源だから、こういうのはよくないよ)
気づき・状況確認	17	13.5	家里有什么事吗? (家族との間に何かあったの?)
状況の原因尋ね	8	6.3	你和家人的关系为什么会这样的 (家族との仲がどうしてこうなっちゃったの)

表11を見ると、「助言・提案・命令」を8割と最も多用しているが、「価値観言及」が27.8%用いられている。これらのことから、「助言・提案・命令」という、状況の改善を促していることが分かる。中国語では、「家族が大事だよ」「肉親の情より重要なものがあるのか」といった価値観に言及する傾向が強い。「助言・提案・命令」を行う根拠も示すことで、相手に改善行動をより強く促していることが示唆される。

5. おわりに

本稿では、肯定的評価行動である「ほめ」と否定的評価行動である「けなし」を同軸に置き、相手が親友の場合に用いられる評価言語表現を分析した。肯定的・否定的評価場面とし

て、髪型、iPad／古い携帯、掃除、成績、家族仲を取り上げた。

金庚芬・関崎博紀・趙海城（2013）で取り上げた日本語、韓国語の同条件の調査結果と比べれば、中国語では肯定的・否定的評価場面での言及率の差が少ない。掃除、家族仲の場面を除くと、肯定的評価場面での言及率が否定的評価場面より高く、評価の表現も肯定的評価場面に多い。否定的評価場面では評価の表現は減り、他の表現の使用率が高くなる。また、評価の対象によって言及率に差があり、肯定的評価場面では言及率の高さが髪型＞成績＞掃除＞iPad＞家族仲の順になっている。否定的評価場面では親友がいつもサークルルームを汚く散らかしていることが最も多く言及されていた。

表現面では、評価的で、肯定的評価場面では感情表現が少ない。一方、否定的評価場面では、何らかの基準や理屈を述べたり、突き放して注意したり率直にアドバイスしたりすることで、その行動を正そうとしている。また、情報、行為、恩恵などを要求する表現や、詰問・気づき、悲観的な未来への言及が多いことから、相手の親友に積極的に関わろうとする姿勢が読み取れる。これは悪い成績、家族仲が悪い場面での言及率の高さの一因となっている。中国語のこの特徴を「評価干渉型」と名付ける。

本稿は肯定的・否定的双方向からアプローチしたことにより、中国人はなぜ「ほめ／けなし」行動を行う、行わないか、またその表現方法はどうかを見ることができ、相手との対人関係をどのように調整し維持しているのか、そこに反映されている規範、ルールのようなものの一端が浮き彫りになった。

本稿では、親友を統一的に定義して提示したが、談話完成型アンケートのため、実際の会話での談話展開や相互行為と違う面も見られると予測される。実際の談話をデータとした分析も必要であり、今後の課題とする。

注

- 1) 好朋友：经常一起吃饭或喝茶、什么都可以聊的关系。你的烦恼或喜悦、彼此的长处或短处等深入的话题到家庭关系等隐私话题都可以跟他／她聊。（親友：いつもよく食事をしたり、お茶を飲みに行ったりして、何でも話せる間柄。悩みや嬉しかったこと、互いの長所や短所などのかかなり立ち入った話から、家族関係などプライベートな話も出来る間柄。）
- 2) 熟人：认识对方并知道对方的名字。在学校遇到时会打招呼或简单聊几句、但没有私人交往。（知り合い：顔や名前は知っている。学校の中で会ったら挨拶や簡単な立ち話はするが、プライベートでの付き合いはない程度の間柄。）
- 3) 第二コーディングに利用したデータは、各場面の全データの1/7で、ランダムに抽出した。結果の一致率が充分ではない場合、当該の定義の精緻化と、コーディング、第二コーディングを繰り返した。その結果、いずれの場面、分類においても $\kappa=0.66$ 以上と、「偶然を超えたかなりの、ないし良い一致率」とされる値を上回る数値が得られた。
- 4) 各場面で回答者総数に少し変動があるのは、未回答項目が僅かながら見られるためである。

参考文献

- 金庚芬・関崎博紀・趙海城（2013）「肯定的／否定的評価の場面における日本語・韓国語・中国語の表現分析—相手が親友の場合—」『社会言語科学会第32回大会発表論文集』、社会言語科学会:78-81.
- 熊取谷哲夫（1989）「日本語における誉めの表現形式と談話」『言語習得及び異文化適応の理論的、実践的研究』2、広島大学教育学部日本語教育学科:97-108.
- 関崎博紀・金庚芬・趙海城（2013）「日韓大学生の評価行動に関する社会心理学的研究（2）—「けなし」の場合—」『社会言語科学会第31回大会発表論文集』、社会言語科学会:178-181.
- （2017）「ほめの対象に働く価値観の日韓中比較—大学生へのアンケート調査の結果に対する因子分析を通して—」『社会言語科学』20（1）、社会言語科学会:161-175.
- 彭国躍（1990）「『謙遜の原則』の適用に関する比較社会語用論的試み」『待兼山論叢』24、大阪大学文学部:39-56.
- 李冬娜（2015）「「ほめ」に対する返答の日中対照研究—日本人大学生と中国人大学生を中心—」『日本語教育における日中対照研究・漢字教育研究』駿河台出版社:399-419.
- 胡士云（1997）〈骂人话及骂人话研究杂谈〉《语言教学与研究》73、北京语言文化大学:83-90.
- 蒋冰清（2006）〈英汉称赞语的语用特征分析〉《哈尔滨学院学报》27（11）、哈尔滨学院:130-133.
- 李悦娥・冯江鸿（2000）〈析普通话话语中的赞扬及其应答〉《外语与外语教学》137、大连外国语学院:28-32.
- 刘福根（2008）《汉语詈词研究-汉语骂詈小史》浙江人民出版社.
- 张韶岩（2012）《中日跨文化交际实用教程》华东理工大学出版社.
- Holmes, J.（1986）Compliments and Compliment Responses in New Zealand English. *Anthropological Linguistics*, 28-4. Indiana University. :485-508.

謝辞

本研究は科学研究費補助金基盤研究（C）「東アジア言語の対人評価行動に関する研究」（課題番号：24520480、研究代表者：金庚芬）の助成を受けました。調査協力者、分析協力者の方々に感謝申し上げます。また、本稿に関して有益なアドバイスをくださった3名の査読者、ネイティブチェックしてくださった明星大学の石塚翔氏に感謝申し上げます。